

桜井市トンネル長寿命化修繕計画

(1) 計画対象施設

計画対象となるトンネルは、桜井市が令和7年3月現在で管理している 4施設 となります。

桜井市管理トンネルの定期点検 令和7年3月現在				
I判定	II判定	III判定	IV判定	全橋梁数
0	2	2	0	4
0%	50%	50%	0%	100%

(2) 計画期間

中長期の計画では、更新費用を考えるためトンネルの寿命以上の年数を考え 50年間 としています。

短期計画では点検頻度やその他の道路施設の計画期間を考えて、10年間の計画を策定しています。

(3) 費用の縮減に関する基本的な考え方

日常業務において容易に対応できる損傷は、随時、修繕します。

計画的に修繕することで、各年度の事業費が大幅に増加しないように予算の平準化を行います。

新技術を活用（令和10年度までに1施設で新技術を活用することを目標）し、従来技術を活用した場合と比較して10万円のコスト縮減を目指します。

集約化・撤去対象の検討を行った結果、管理する施設は山間部に位置しており、隣接する迂回路を通行した場合、約5.8km（所要時間18分）を迂回することとなり、社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うことが困難です。

周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて、再度検討を行います。

(4) 優先度評価の考え方

計画では、限られた予算で効果的な対策を実施するため、健全度の低いものを最優先とし、更に周辺環境や路線の位置付け等を踏まえ、事業実施の際に市民に与える影響の大きいトンネルから優先に補修を実施します。

(5) 個別施設の状態等

これまでの点検によって診断されたトンネルの健全性とトンネルの重要度が高く対策を優先的に進めるために必要となる指標をまとめています。一覧は「(6) 対策内容と実施時期」に記載します。

(6) 対策内容と実施時期

今後10年間で対策を実施するトンネルの対策内容と対策時期を整理しています。また(5)個別施設の状態等で整理している対策の優先度を定める指標も記載しています。

表 個別施設の状態、対策内容と実施時期

※1：トンネル定期点検に要する費用は除く

橋梁名	架設年度	延長 (m)	判定	重要度					年次計画										概算事業費 (千円) ※1	対策内容	備考
				緊急輸送 道路	道路種別	交差状況	代替路の 有無	通学路の 有無	R 1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10			
鹿路トンネル	1966	570.00	Ⅲ	無	その他	-	有	-	点検				点検			設計		工事・点検	46,120	漏水対策等	
口の倉トンネル	1980	440.00	Ⅲ	無	1級	-	有	-	点検				点検			設計	工事	点検	61,464	漏水対策等	
大峠トンネル	2002	1806.00	Ⅱ	無	その他	-	有	-	点検				点検					点検			
八井内トンネル	2003	475.00	Ⅱ	無	その他	-	有	-	点検				点検					点検			